

甲南大学グリークラブ

部員ゼロからの復活劇



甲南大学グリークラブ・運営アドバイザー 松本一樹

甲南大学グリークラブOBで、現在クラブの運営アドバイザーという立場でクラブの活動に携わっております、松本一樹と申します。

私たち甲南大学グリークラブは、2020年に突如始まった新型コロナウイルス感染拡大により活動がストップしてしまい、翌2021年春、ついに合唱部員がゼロになってしまいました。

そして2022年現在、混声合唱団として新たな活動をスタートした“**新生**”甲南グリーは、女子部員4名、男子部員2名の計6名で元気に活動を続けています。文字通りゼロからの再出発を余儀なくされた甲南グリーがどのように息を吹き返したのか、私の立場から見たその経緯を、僭越ながらご紹介させて頂きたいと思えます。

◇ 甲南大学グリークラブ

甲南大学グリークラブは大学が創立された1951年に立ち上げられた、学内で最も歴史のあるクラブのひとつで、昨年は創部70周年を迎えました。今日に至るまでには毎年開催していたリサイタルや他大学合唱団とのジョイントコンサートに加えて、過去には演奏旅行や関西六大学合唱演奏会（関西六連）の一員にも名を連ね、合唱活動に関わる多くの仲間たちや私たちに応援くださるみなさまに支えられ、ここまで活動を続けてこれました。指導者として技術顧問に**松原千振**、常任指揮者に当団OBの**西牧潤**、ヴォイストレーナーにプロ声楽家の**嶋本晃**を擁し、大学合唱団として特色のある活動を続けてきました。

もともと近年は部員数も10名～20名程度を推移しており、少人数アンサンブルでの活動が続いておりました。甲南大学特有の気質とでも言うのでしょうか、グリークラブもどこかのんびりとした雰囲気は昔と変わらず、総じてマイペースな部員が多かったように思います。特にコロナ直前の数年間は部員のその気質が顕著で、新歓活動で思うような成果が挙げられず、10名以下での活動を余儀なくされていたのも事実です。

そこに来てこのコロナ禍。部員の士気も一気に低下してしまい、先々のことを考える余裕もな

く、その日のことで精一杯…といった日々を過ごすばかりでした。結局2020年度は一度も本番のステージを踏むことなく、4人の4年生が卒団。残るは3年生1人と1年生1人という状況でしたが、ついには2人とも退部してしまい、最も恐れていたことが現実のものとなってしまったのです。

私たち指導者もこの流れに抗うことができず、途方に暮れるばかりでした。しかしこうなってしまった以上、何とかして復活の道を探してみよう、と常任指揮者・西牧潤と私とで再生へのプロジェクトを開始することになりました。

◇ 再生へのプロジェクト、その過程での大きな問題

こうして、ゼロからの再出発に向かって動き出した訳ですが、さしあたっての大きな問題は2つありました。

まずひとつめは、大学内でのクラブの取り扱いについてです。

大学にクラブ活動を認可されるには、いくつかある指定の役職に部員を選出せねばなりません。つまり、部員ゼロのグリークラブにとってはここをクリアすることは不可能であり、クラブ活動を承認してもらえません。ただし、そのような状態でも“休部”という扱いにより1年間は猶予を与えられるので、即刻廃部ということにはなりません。ですが、1年で新入部員獲得ができなければ、いよいよ廃部も現実味を帯びてくる、ということになります。

そしてもうひとつの問題が、具体的な勧誘方法です。

現役部員がゼロな訳ですから、当然のことながら学内での勧誘は不可能。となれば、SNSなどのオンラインで広報するしかありません。そこでまずは休眠状態だったTwitterとFacebookの公式アカウントを稼働させ、広報を開始しました。それと同時に、若手のOB数名と新歓チームを結成し、広報や新歓企画の意見交換などを手伝ってもらいました、また、対面での新歓活動ができないことからオンラインツールの充実をと考えて、Zoomの有料アカウントを取得しました。これはOB合唱団の甲陵会合唱団に全面的に資金援助をしてもらうことで可能になりました。これは現役・OB双方が使えるツールとして、現在も大変役立っています。

こうしてまずは広報に向けての“ハード面”は目処が立ちました。次に考えるべきは“ソフト面”、つまり、どのような内容の情報を発信するか、というところです。そこでまずは、一目見ればグリークラブのことがある程度は理解してもらえる資料として新歓用のデジタルパンフレットを作成し、SNSで発信していきました。こちらからは何もアクションを起こせませんが、もし興味を持ってくれる学生が現れた場合、そのパンフレットを見てくれさえすれば先に繋がる可能性は大きくなります。

そうして細々とでもSNSでの広報を続け、少しはグリークラブの認知度も上がったかな？というタイミングで次に企画したのが、Zoomを使ってのオンライン新歓です。まずは手始めに、オンラインクラブ説明会を企画しました。クラブの歴史、学内・学外でのグリークラブの位置付け、年間活動スケジュールなどなど、新歓パンフレットを深掘りする内容で、新歓チームで役割分担もして準備にかかりました。

◇ 1人の男子学生との出会い

ちょうどこの頃、1人の1年生男子学生がグリークラブに興味を持ってきて、コンタクトを取れるようになりました。ひとまずこの彼のためだけにでも企画を開催できればと声をかけたところ、オンライン説明会に参加してくれることになりました。説明会当日はオンライン上とは言え、何人もの大人を相手にさぞ緊張したでしょうが、常任指揮者・西牧潤と共通の趣味（鉄道）が判明するというミラクルも起こり、とてもいい雰囲気ですべて終わることができました。

ここからは、ひたすらこの彼のために新歓イベントを企画していったと言っても過言ではありません。

ヴォイストレーナー・嶋本晃によるオンラインヴォイストレーニング、近隣大学の合唱仲間と協力してもらっての体験練習会、そして西牧・嶋本両氏による対面での練習と、飽きさせまい、取り逃がすまいとそれこそ必死のバッチでイベントを企画し、実行していきました。その間にも、ほかの学生に広く広報するために、各イベントのデジタルチラシを作成し、都度情報発信していきました。

そうした地道な努力を継続した結果、9月、ついにその男子学生が入部を決意してくれました！！入部しても部員は彼1人、しかもまだ1年生。よく決心してくれたと思います。入部式の様子はZoomを使ってOBにも公開し、たくさん先輩方が彼の入部を祝福してくれました。

◇ “0”と“1”とでは全く違う！俄かに動き出したクラブ活動

そしてここから、一気に色々なことが動き出します。

まずは休部状態だった学内での取り扱いが、彼が1人で必要な役職全てに就いてくれたことで、クラブ活動再開が正式に認可されました。これにより、漸く学内の教室や施設での練習が可能になりました。

また、常任指揮者・西牧潤が同じく指揮者として携わっている神戸学院大学混声合唱団パンドラの定期演奏会に友情出演させてもらえることも決まりました。これは、部員1人で合唱ができないこちら側の現状と、男声メンバーが少なく1人でも男声を欲していたパンドラの思惑とが見事に合致したことによるところも大きかったのです。

こうして、後期からは男子部員1人のための練習を学内で実施しつつ、彼が単身で神戸学院大学へ“出稽古”に行く、という日々が始まりました。12月、迎えたパンドラ定期演奏会では、結局全ステージに出演させて頂き、本人にとってもパンドラのみなさんにとっても、大変価値のある機会になりました。

◇ 次のチャンスに向けてチャレンジは続く

年は明けて2022年。今後の活動に向けてある程度の道筋は見てきたものの、部員はたった1人。この、合唱ができない状況を打開すべく、広報ツールの更なる充実を図ります。男子部員のアイデアにより、YouTubeチャンネルを開設することにしたのです。更新不定期、ネタもノンジャンルゆる～いスタンスでとだけ決めて、思い付くままに企画を発案し、また『これは使える!』と思ったらとにかくカメラを回しておいて、あとは編集、公開…という新たなルーティーンが加わりました。新年度が始まるまでに、すでに数本のYouTube動画を公開している状態で、来るべき新歓に向けて大きな武器を手に入れました。

そしてこの4月、大学として対面での新歓活動が3年振りに実施されるとあって、無理なく効果的に新歓が進められるよう、対面、SNS両面での作戦も念入りに行いました。また学内での新歓イベントで演奏する機会もあり、今回もまた近隣大学の仲間たちに友情出演してもらい、リアルでの演奏を聴いて頂くこともできました。

結果、この春は何と一気に4人の新入部員が入部してくれたのです!!その内訳も女子3人、男子1人で、各パート1人ずつではありますがきちんと4パート揃うことになり、部員ゼロになってから僅か1年で、正真正銘の混声合唱団としてスタートを切ることができました。



5人全員が揃った最初の練習こそ常任指揮者のもとで実施しましたが、以降は部員のみでの練習も自主的に開催し、運営の役割分担も進めていたり、俄に手がかからなくなり、嬉しいやら寂しいやら…。

いよいよ混声合唱団として活動を始めていく甲南グリー、そこには思わぬ効果も表れました。甲南大学でかつて活動していた**女声合唱団アモローゾ**というクラブがあったのですが、そのOGのみなさんが大切に保管されていた当時の本番衣装のスカートを、女子メンバーにと提供してくださったのです。鮮やかなえんじ色でベルベットの上品なスカート、受け取った本人たちはとても気に入っており、また私のようなOBにはとても懐かしく感じるものでもありました。“**新生**”甲南グリーの存在に希望の眼差しを向けてくれるのはグリークラブOBだけではない、と感じられた出来事になりました。

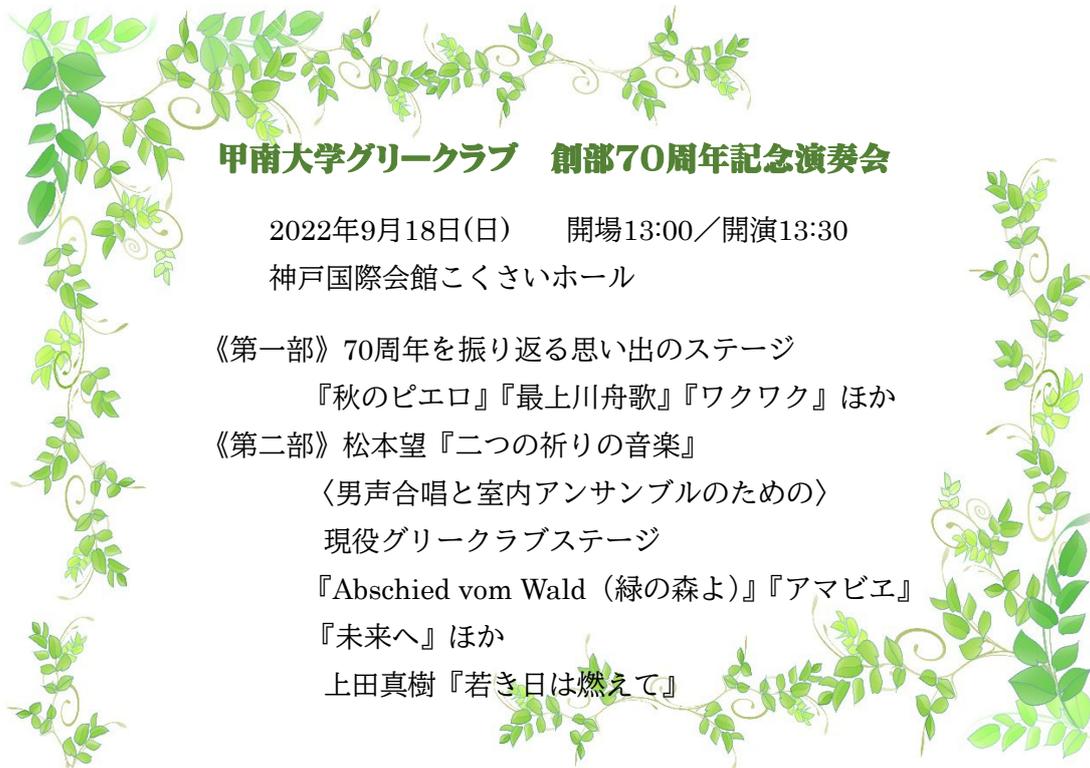
また夏休み中には配信での本番を経験し、役職・役割の分担についても話し合いを実施したりと、少しずつではありますが確実に、合唱団としての体を成してきました。

◇ ちょっとここで宣伝…

そんな私たち甲南大学グリークラブは、2022年9月18日(日)に、**創部70周年記念演奏会**を神戸国際会館こくさいホールにて開催いたします。

もちろん現役グリークラブのステージも予定しており、これが混声合唱団になってからお客様の前で演奏する初めての機会になります。そして、何と夏休み中にさらに女子部員が1人入部してくれて、計6人で出演いたします。

収容人数2,000人のこくさいホールで、たった6人で演奏する現役グリークラブ。そんな彼らの背中をみなさまに押してもらいたく、また**甲南大学グリークラブ**の新たな歴史の第一歩を歴史の証人として是非みなさまにもお立ち会い頂きたく、ここに宣伝させていただきます。



甲南大学グリークラブ 創部70周年記念演奏会

2022年9月18日(日) 開場13:00/開演13:30
神戸国際会館こくさいホール

《第一部》70周年を振り返る思い出のステージ
『秋のピエロ』『最上川舟歌』『ワクワク』ほか

《第二部》松本望『二つの祈りの音楽』
〈男声合唱と室内アンサンブルのための〉
現役グリークラブステージ
『Abschied vom Wald (緑の森よ)』『アマビエ』
『未来へ』ほか
上田真樹『若き日は燃えて』

◇ さいごに

ここまで甲南グリーのゼロからの再出発についてご紹介させていただきました。立場上、これからのこのクラブの行く末を案じる訳ですが、まずはこのコロナ禍になってから全く招聘できていない技術顧問の**松原千振**にお出まし頂き、彼の持つ音楽とメンバーの歌声との相聞を果たさねばなりません。また、次の新歓機会など今後の活動に向けての広報等のブラッシュアップ、より良い活動を継続していくための運営の深化、といったところにも手を付けていかねばなりません。

あと、個人的に気掛かりなこととして、甲南グリー以外の大学合唱団にも、部員数が減少し、本番のステージで演奏することのみならず日々の活動すらままならない状況の合唱団が、私の周りにもいくつも存在しているという現状です。私がよく知るところでは、大阪の**梅花女子大学合唱団**が、甲南グリーと同様に今年の春、部員ゼロの状況になってしまいました。こちらも現在、OGのみなさんがSNSを中心とした勧誘活動を継続しており、学内での演奏機会も予定されているとのこと。梅花女子大学にも歌声が戻ってくることを切に願っております。

私がこのクラブの再生に携わって感じたことは、OBなどのクラブ関係者のみならず、大学の関係者・関係団体、近隣の合唱仲間たちといった多くの人たちが本当に親身になって心配していただき、様々なかたちでご協力くださったことで、決して我々は孤独ではないのだ、ということでした。SNSの管理をしていると、全国の仲間たちや合唱団が応援してくださっていることが分かり、大きな大きな心の支えになりました。

一方で、合唱団の運営に行き詰まり、外への発信力を維持できないところもまだまだ多く存在します。このコロナ禍で直接的な支援がさらに困難になってしまった現状で、そのような合唱団の存在を拾い、発信の手助けができる可能性もSNSなどのツールには秘められている、とも感じました。

甲南グリーがみなさまから享受したご恩を、どのような形でお返しできるのか。これからはそのことも銘肝し、活動を継続していきたいと思います。



グリークラブ70周年を敬意と感謝の気持ちを持って皆で祝い、そして、これからも

KONAN
UNIVERSITY
Glee Club 70th

甲南大学グリークラブ 創部70周年 記念演奏会



第一部

70年を振り返る思い出のステージ Pf 石田佑美子

「秋のピエロ」「最上川舟歌」「ワクワク」ほか

第二部

松本 望：「二つの祈りの音楽」

(男声合唱と室内アンサンブルのための)

指揮 西牧 潤

Fl 小中公平 | Cl 山本聡美 | Vn 中嶋弥生、内田果樹

Va 春田真理子 | Vc 藤原克匡 | Cb 小島琳太郎 | Pf 次郎丸智希

上田真樹：男声合唱のための「若き日は燃えて」

2022年

9月18日(日)

開場：13時 開演：13時30分

会場：神戸こくさいホール

全席自由 ¥1,000

主催：甲南大学グリークラブ、甲陵会(甲南大学グリークラブOB会)

後援：甲南大学同窓会、甲樽会[甲南大学文化会OBOG会連合会]

関西合唱連盟、兵庫県合唱連盟、JCD\日本合唱指揮者協会

21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」

お問い合わせ：koryokai70@yahoo.co.jp



Back

音楽・合唱コーナーTOPへ

Home

HOME PAGEへ